

## 令和3年度福井県子どもの読書活動推進会議 開催報告

日時 令和3年11月22日（月曜日）15:00～16:30

場所 福井県庁11階 教育委員会室

出席者

（委員）天野準一委員、石田弥生委員、小森雄介委員、島田芳秀委員、谷出千代子委員、坪内啓子委員、坪川祥子委員、野坂訓由委員、向井雅子委員、山下裕己委員、湧口真委員

（事務局）教育庁生涯学習・文化財課

議事（1）会長、副会長の選出

- ・ 会長は、事務局が山下裕己委員を提案し、承認された。
- ・ 副会長は、山下会長が谷出千代子委員を指名した。

議事（2）令和3年度の状況について

- ・ 今年度事業の報告と今後の取組について

（主なご意見）

- ・ 子どもの成長段階に応じた推奨図書の小冊子について、もっと周知すべき。
- ・ ジュニア司書は、ジュニア司書に認定されてからが取組のスタートと考え、学校を巻き込んだ取組にしてはどうか。
- ・ 大人が本に親しむ機会を作ることも、子どもの読書活動推進のためには間接的に必要ではないか。PTAの協力が得られるとよいのではないか。
- ・ 読書に親しむ家庭と、読書に興味が少ない家庭の差の広がりを感じる。等しく読書に触れる機会を提供できるのは学校であり、未就学児にとっては保育園・こども園・幼稚園である。学校では教室での読み聞かせやブックトークなど行われており、学校での子ども達への読書に関するアプローチを拡充していくことが有効である。
- ・ 学校ではタブレットの活用を推進している。学校図書館の本をタブレットで検索できるようになるとよいのではないか。学校図書館には、学校の情報センターとしての役割があり、重要性が高まっている。学校図書館の蔵書充実のための支援を考えなければならないのではないか。